生成AIで製品PR動画

ヤブシタHDグループ
Ｏｕｒｓ

Ｏｕｒｓ（本社・東京、ウール）は、生成AIを用いて製品PR動画や営業資料を制作している。建設分野では、新製品の特長や導入効果を分かりやすく伝える動画を提案。長船瑠佳社長は「完成品がなくても、設計図などを参考に映像化できる。早い段階から顧客に完成イメージを見てもらえる」と、営業や広報への活用を呼び掛ける。

動画制作などを手掛ける長船社長
（Ｏｕｒｓ提供）

設計図からでも映像化
早い段階で顧客に完成イメージ提供

同社は、ヤブシタホールディングス（本社・札幌）のグループ会社で、5月20日に発足。主に動画制作とグラフィックデザインを手掛け、短い納期に対応できるのが強みだ。価格は、一般的なCG動画相場の10分の1に抑えた。

長船社長は2年前に入社し、ホールディングスの経理や太陽光発電システムなどを扱うヤブシタエネシスで営業を担当。AIを用いた文章生成や業務効率化に取り組むとともに、社内講師として活動していた。

その後、制作した動画や画像がホールディングスの森忠裕代表の目に留まり、3月に会社設立と社長就任の打診を受けた。驚きや不安で頭が真っ白になったが、その場で挑戦する覚悟を決めた。

新会社の社長に20歳で就任し、若き経営者となった。主にヤブシタグループからの依頼を通して技術や顧客対応のノウハウを磨く。３分以内の動画は、１―３日で完成させる。ＡＩだけでは顧客のイメージ通りにならないケースもある。不自然な部分などを細かく修正して質を高めるため、画像編集ソフトやデザインを勉強中だ。

ＰＲ動画は、図面や依頼者の説明を手がかりに作り込む。これまでに納品した火山灰フードの動画では、空調設備が火山灰を吸い込んでしまうのを防ぐ仕組みを紹介。設備の形やフィルターに火山灰が吸着する様子などを視覚的に分かりやすくした。

今後は、製品の組み立て方法を簡潔に伝える動画制作に力を入れる。技術者が短時間で設置方法や注意事項を把握して施工を効率化できれば、人手不足の建設業にとってプラスになる。

長船社長は「1年後には外部案件が占める割合を30%に増やし、売り上げ３００万円以上を目指す。デザインできる分野を広げつつ、場数をこなしながら制作速度や品質を上げたい」と意気込む。

制作した火山灰フードの紹介動画